



## **REMOTE AIR PRO 3**

PD4-S1 (1 モーターモデル)

PD4-S2 (2 モーターモデル)

PD4-S3 (3 モーターモデル)

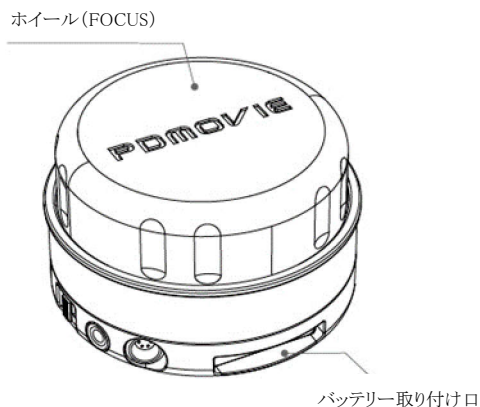
## **取扱説明書**

## REMOTE AIR PRO 3 同梱品

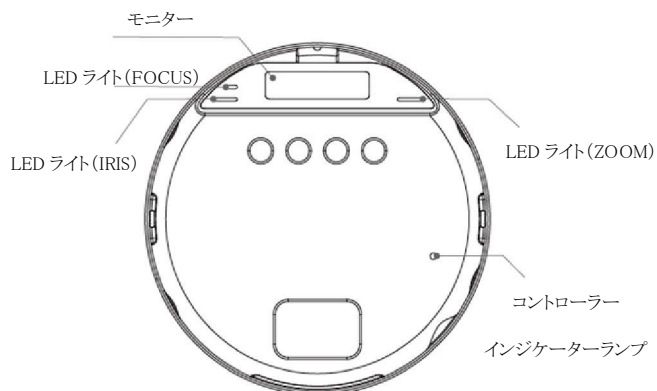
	品名	PD4-S1	PD4-S2	PD4-S3
	コントローラー (PD4-HT)	1	1	1
	レーザーマスターモーター(PD-RX)	1	1	1
	スレーブモーター(PD-MX)	-	1	2
	PD4-HT 用バッテリー	3	3	3
	充電器	1	1	1
	モータードライブケーブル	-	1	2
	D-Tap 電源ケーブル	1	1	1
	USB 充電ケーブル(6Pin)	1	1	1
	Micro USB 充電ケーブル(USB-CCM)	1	1	1
	15mm/19mm アダプターリング	1	2	3
	マーキングディスク	4	4	4
	ショートアンテナ	1	1	1
	ロングアンテナ	1	1	1
	機器取り付け金具	1	1	1
	六角棒スパナ (4.0 mm)	1	1	1
	1/4 インチ六角穴付きボルト	4	4	4
	ストラップ	1	1	1
	収納ケース	1	1	1

# 各部名称

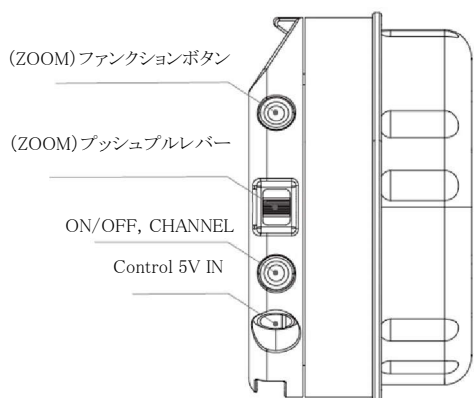
## コントローラー



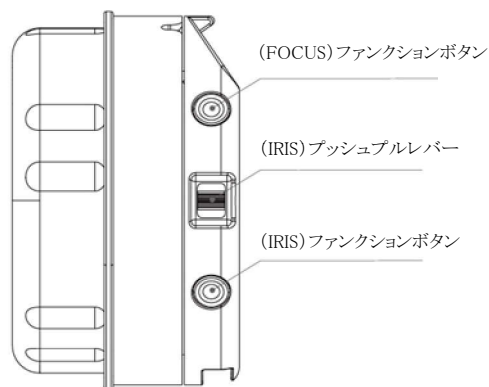
上面



下面

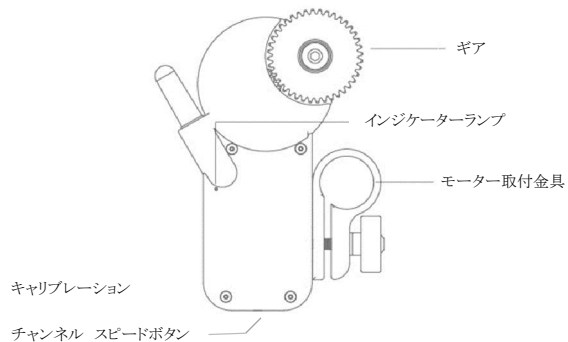


左側面

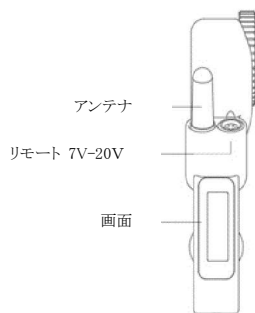


右側面

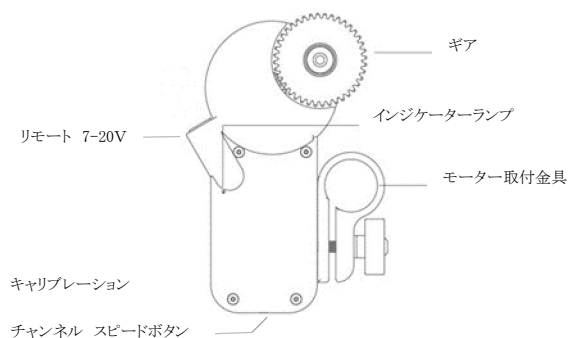
## モーター



PD-RX 前面



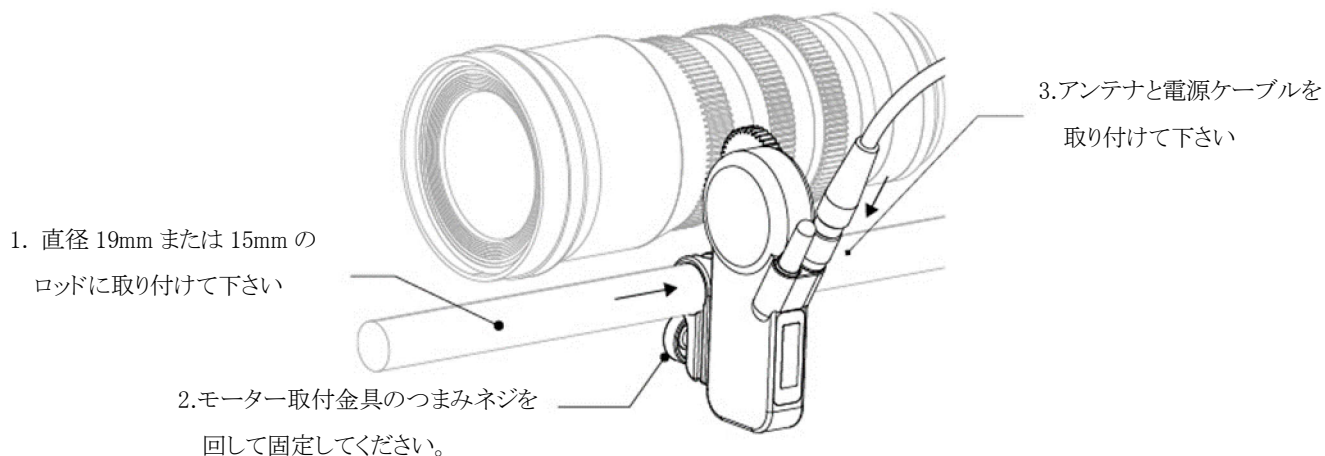
PD-RX 側面



PD-MX 前面

## モーターの取り付け

モーターは直径 19mm または 15mm のロッドに取り付けることができます。15mm のロッドに使用する場合はアダプターリングを使用してください。



## モーターの接続

### PD4-S1（1 モーター）を使用する場合

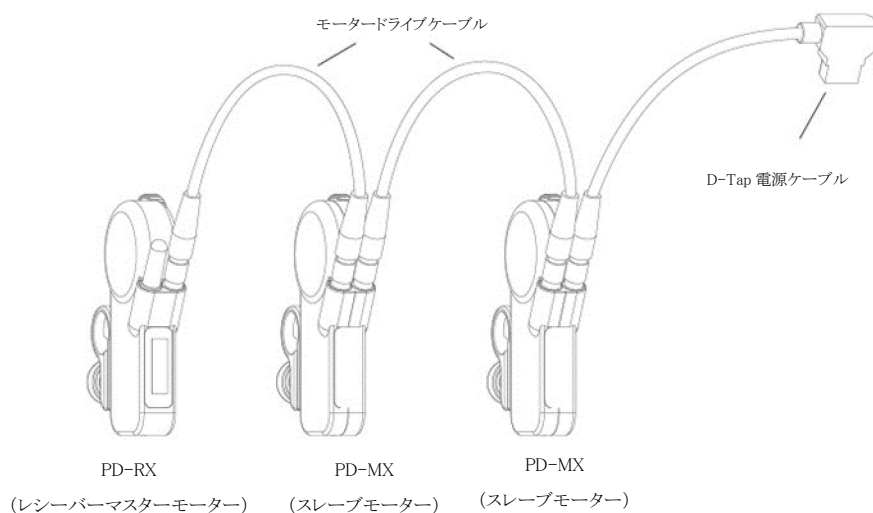
- 1) D-Tap 電源ケーブルをレシーバーモーターに直接接続してください
- 2) 次に、D-Tap コネクターを V-Mount バッテリーまたは同様の D-Tap 出力電源に接続してください (D-Tap 電源は 7~20V)

### PD4-S2（2 モーター）を使用する場合

- 1) レシーバーモーターとスレーブモーターをモータードライブケーブルで接続してください
- 2) 次に、D-Tap コネクターを V-Mount バッテリーまたは同様の D-Tap 出力電源に接続してください (D-Tap 電源は 7~20V)

### PD4-S3（3 モーター）を使用する場合

- 1) レシーバーモーターとスレーブモーターをモータードライブケーブルで接続してください
- 2) スレーブモーターとスレーブモーターをモータードライブケーブルで接続してください
- 3) 次に、D-Tap コネクターを V-Mount バッテリーまたは同様の D-Tap 出力電源に接続してください (D-Tap 電源は 7~20V)



## アンテナの取り付け

ショート・ロングアンテナ各 1 本ずつ合計 2 本のアンテナがパッケージに入っています。レシーバーモーターに取り付けてください。  
受信感度により長短を選択してください

## 電源を入れる

コントローラーの電源をオンにするには、側面の ON / OFF ボタンを押します。モニター画面が点灯するまで 3-4 秒間押し続けます。モーターは電源ケーブルを接続することで、自動的に電源が入りますので、電源ボタンはありません。

## チャンネル調整

コントローラーの電源を入れると、モニターが表示されます。ステータス情報には現在のチャンネルが表示されます。

コントローラーのチャンネルとレシーバーモーターのチャンネルを一致させてください。

チャンネル番号は、モーター・コントローラー側ともに、ボタンを 1 回短く押し、チャンネル表示が点滅した状態でもう一度ボタンを短く押すと変わります。

## コントローラーのディスプレイ情報

C	使用中の現在のチャンネルを表示し、ON / OFF ボタンを 1 回短く押すとチャンネル番号が変更できます
電波状態	チャンネル表示の上部のアンテナアイコン表示で電波状態が確認できます
Bluetooth	iOS アプリとの通信が確立されているときはチャンネル表示上部にアイコンが表示されます
T	コントローラーのバッテリー充電残量のパーセンテージを表示します
R	レシーバーモーター側(モーターが接続されている電源電圧)電圧を表示します
FZI, XYZ	コントローラーの解像度が数値で表示されます

## REMOTE AIR アプリケーション

App Store からアプリケーションをダウンロードします (REMOTE AIR を検索する)

お使いの端末に最新バージョンの iOS と Bluetooth が有効になっていることを確認してください。

アプリのメインコントロール画面には、3 つの列 (ZOOM, IRIS, FOCUS) が含まれています。これらのチャンネルをコントロールするには、画面をタップし ZOOM, IRIS, または FOCUS のタイトル行をグレーに反転させます (チャンネルをアクティブにします)。

チャンネルがアクティブなときは、それぞれの列を指でスライドさせるだけです。黒く反転(非アクティブ)させると、チャンネルはオフで、アプリ経由で制御することはできません。コントローラーでモーターを制御します。

## 制御方法の種類

- ①コントローラー:コントローラーを使用するには、アプリケーションを使用しないでください
- ②アプリケーションコントロール:ZOOM, IRIS, FOCUS チャンネルがアプリでグレー表示されているときはタッチスクリーンを使用し、モーターを制御することができます

## Bluetooth ペアリング

コントローラーは、電源投入後 Bluetooth 接続のための通信サーチを 60 秒間行います。(画面左上に Bluetooth アイコンが点滅表示をします。) この間に、アプリを起動すると、コントローラーと iOS が Bluetooth 接続を行います。

通信が確立すると、コントローラーの Bluetooth アイコンが点灯表示になり、コントローラーインジケーターランプが赤から緑に変わります。

※コントローラーの通信サーチが 60 秒間続いている間に、アプリを起動させなければ、Bluetooth 接続することが出来ません。

通信サーチ 60 秒経過後、再度接続を試みる場合、コントローラーの OFF/ON ボタンを 3 回押しして 4 回目で約 3 秒間長押し、コントローラーを通信サーチ状態にし、アプリを再起動してください。

## キャリブレーション（レンズストローク検出）

モーターがカメラリグとしっかりと取り付けられていることを確認してください

コントローラーの「FOCUS(ZOOM,IRIS)」ボタンを長押し（3秒位）しモーターが動き出したらボタンから離します

リモートエアアプリのメインメニューにある「AUTO」ボタンを押すこともできます。複数モーターが接続をされている場合、同時にキャリブレーションを行います。モーターのボタンで行う場合は、それぞれのモーターで検出します。

しっかりと噛み合わせず動作させた場合はモーターのボタンを1回押すことでモーターを停止することができます。

## レンズストロークを手動で検出する

ギアの開始終了が自動で検出できないレンズではレンズストロークを手動で設定します。

- ①ギアとレンズがしっかりと固定されていることを確認してください
- ②レンズギアを回し開始位置まで移動し、ギアの動きを止めます
- ③再度レンズギアを手動回し、終了位置に移動し、ギアの動きを止めます
- ④③で回した方向とは逆方向に少しギアを動かします（その時ギアがしっかりと噛むような動きをします）

※スチールレンズや一眼レフカメラレンズを使用される場合、レンズストロークは手動で検出することを推奨します。

## モーターのボタン機能

ボタン	機能
キャリブレーション	3秒間押し続けてレンズが回転を始まりましたらボタンから離してください
チャンネル スピード	モーターの反応速度の切り替えと制御チャンネルの切り替え

## レンズストロークの復元・取消

バッテリー交換等で再度電源を入れた後、モーターのボタンを4回押すことにより、レンズストロークをキャリブレーションすることなしに復元することができます。また自動検出後、再度手動で検出を行いたい場合、ボタンを4回押すことで、レンズストロークを取り消すことが可能です。（この操作により、電源をオンオフさせることなく、迅速にレンズストロークの再設定が可能です。）

※電源交換後キャリブレーションを復元させる場合、5分以内で行なってください

## モーターチャンネル切換テーブル

ボタン操作	コントローラー	インジケータランプの色	操作推奨チャンネル設定
2回押す ●●	R1	赤	フォーカス
	G2	緑	ズーム
	B3	青	アイリス
3回押す ●●●	Y4	黄色	予備
	C5	シアン	予備
	P6	紫	予備

※黄色、シアン、紫チャンネルは将来的な追加機能用に設けられています

インジケータランプは赤→緑→青（黄色→シアン→紫）の順に切り替わります

## コントローラーチャンネル切換テーブル

ボタン操作	コントローラー	インジケータランプの色	操作推奨チャンネル設定
2 回押す ●●	R1	赤	フォーカス(ホイール操作)
	G2	緑	ズーム(プッシュプルレバー操作)
	B3	青	アイリス(プッシュプルレバー操作)
	Y4	黄色	予備
	C5	シアン	予備
	P6	紫	予備

※黄色、シアン、紫チャンネルは将来的な追加機能用に設けられています

※インジケータランプは、フォーカスファンクションボタンは、赤→黄色

ズーム、アイリスファンクションボタンは、緑→青→シアン→紫の順に切り替わります

## モーター反応速度切り替え操作

ボタン操作	モータースピード	LED 点滅
5回押す ●●●●●	早い	速い点滅
	中程度	遅い点滅
	ゆっくり	点灯

※後述の通りコントローラーは、ズーム・アイリスファンクションボタンの操作により、

モータースピードが変更できるため、コントローラー側の制御が優先されます。

## コントローラーのボタン説明

ボタン	機能	動作
ON/OFF チャンネル	ON/OFF	3~4 秒間ボタンを押し続けると電源が ON/OFF になります
	チャンネル変更	短く 1 回押し、チャンネル表示が点滅状態で変更します
	Bluetooth ペアリング	3回ボタンを押したのち、4回目でボタンを長押しすると、通信サーチします
FOCUS ZOOM IRIS	キャリブレーション	3 秒間押し続けてレンズが回転を始まりましたらボタンから離してください
	コントロールチャンネルの変更	連続 2 回押します。コントロールするモーターチャンネルを変更します
	モーター回転方向の切り替え	連続 7 回押します *アプリが OFF の場合に設定可能です
	ストローク幅を手動で設定する (AB ポイント)	ボタンを 1 回押しして A 点を設定します (一度白点灯します。)。ホイールもしくはブルプッシュレバーを動かして、改めてボタンを押して B 点を設定します (設定後、インジケータランプが白点滅表示します)。その状態でボタンを 1 回押しすと AB 点を無効にします。 *アプリが OFF の場合に設定可能です
ZOOM	スピードの切り替え	連続 5 回押します。3段階でモーターの操作スピードが変更できます
IRIS	操作位置の入れ替え	連続 3 回押します。ZOOM と IRIS の操作位置を好みで変更できます

## コントローラーインジケータランプの色

表示色	赤	緑	青	水色
ステータス	ユニットの電源が入っている	ユニットの電源が入っている アプリ経由でデバイスと同期している	ユニットが充電中	ユニットが充電中 アプリ経由でデバイスと同期している

## その他

①3種類のサイズ(0.4mm、0.5mm、0.6mm)のギアキットがオプションアクセサリであります。モーターのギアを付け替えることでギアピッチを変更することが可能です。

②非常停止機能:モーターがレンズギアとしっかり噛み合っていない場合に誤って動くことがあります。その時にモーターの底にあるボタンを短く1回押してください。直ちに停止します。

### ③電源と充電

約12時間連続で使用可能です。

表示パネルには残量がパーセントで表示されています。作動しない場合は5V INの電源もしくは専用充電器で充電、使用できます。

約4時間で満充電になります。長時間使わない時は定期的にバッテリーを点検し容量を確認してください。

長期間放置し、過放電の状態が長くなるとバッテリーの寿命が短くなりますので注意してください。

### ④機器のメンテナンス

できるだけ、乾燥した環境に保管してください。湿度が多いと水分やかびが発生しやすく、機器が損傷することがあります。

2019.12